

## 08 前置詞

### 【要点】

- 文中での名詞は原則、定形動詞が自動詞か他動詞かで格が決まります。
- しかし、名詞の前に「前置詞」を置くと、定形動詞の種類とは別のルールで名詞の格が決まります。
- このルールは「前置詞」ごとに決まっています。これを「前置詞の格支配」と言います。

### A: 名詞が特殊な目的格(3格)になる前置詞

アウス <u>aus</u>	．．．の中から
バイ <u>bei</u>	．．．のもとで、ところで、そばに
ミット <u>mit</u>	．．．と一緒に、．．．を使って
ナツハ <u>nach</u>	．．．の後で、．．．の方へ
ザイト <u>seit</u>	．．．以来
フォン <u>von</u>	．．．から、．．．について
ツー <u>zu</u>	．．．へ、．．．に向かって

例：

ハウス  
aus dem Haus  
家から

アウト  
mit dem Auto  
車で

ウンターリヒト  
nach dem Unterricht  
授業の後で

zu ihm = to him  
彼の方へ

## B:名詞が目的格(4格)になる前置詞

ビス <u>bis</u>	・・・まで
デュルヒ <u>durch</u>	・・・を通して
フ1ア <u>für</u>	・・・のために
ゲーゲン <u>gegen</u>	・・・に対して、・・・と面と向かって
オーネ <u>ohne</u>	・・・なしに、・・・せずに
ウム <u>um</u>	・・・の周りに

例：

エンデ

bis Ende des Jahres<sup>注意</sup>

年末まで Endeは無冠詞で使われますが、格は目的格です。

注意 des Jahres: 「年の」 所属を表す名詞の格です。日本語の教科書では「2格」と呼ばれます。

パーク

durch den Park

公園を通して

ファミリーエ

für die Familie

家族のために

ohne mich

私をぬきで

um den Tisch

机の周りに

## C: 名詞を「特殊な目的格(3格)」と「目的格(4格)」とで使い分ける前置詞

### ■「特殊な目的格(3格)」を使う場合=「静止場所」

例：

トーマス                      カウフハウス                      ヤ ッ ケ  
 Thomas kauft in dem Kaufhaus eine Jacke.  
 トーマス君はデパートで上着を買います。

\* 「デパート」はここではトーマス君が「いる場所」を示します。

\* 他動詞kaufenの目的格になる名詞(目的語)は、ドイツ語では、原則、文末に来ます。

### ■「目的格(4格)」を使う場合=「移動場所」

例：

ゲート                      シュタート  
 Thomas geht in die Stadt.

\* トーマス君はその街に行きます。

\* トーマス君はまだその街に「いません」、これから「移動して」行く場所です。

■以下の表にあるような「場所」にかんする前置詞で以上のような使い分けをします。

アン <u>an</u>	・・・に接して、・・・に面して、・・・のきわに、へ
アウフ <u>auf</u>	・・・の上に、へ
ヒンター <u>hinter</u>	・・・の後ろに、へ
イン <u>in</u>	・・・の中に、へ
ネーベン <u>neben</u>	・・・の横に、へ
ユーバー <u>über</u>	・・・の上方に、へ
ウンター <u>unter</u>	・・・の下に、へ
フォア <u>vor</u>	・・・の前に、へ
ツヴィッッシェン <u>zwischen</u>	・・・の間で、へ